

## 共用試験 CBT と医師国家試験の出題範囲

平成26年11月12日

医療系大学間共用試験実施評価機構 理事

高木 康

医師国家試験出題基準の出題範囲（医師国家試験出題基準の中項目）と共用試験 CBT の出題範囲（医学教育モデル・コア・カリキュラム）を比較すると、共用試験 CBT では下記の項目については明確な記載がない。

## 医師国家試験出題基準

## 【必修の基本的事項】

- |              |  |
|--------------|--|
| 17. 生活習慣とリスク | G 生涯設計                                       |
| 18. 一般的教養事項  | B 医学・医療に関する人文・社会科学・自然科学・芸術などに関連する一般教養的知識や考え方 |
|              | C 診療に必要な一般的医学英語                              |

## 【医学総論】

## I. 保健医療総論の項

- |         |              |
|---------|--------------|
| 7. 国際保健 | A 世界の保健・医療問題 |
|         | B 国際保健・医療協力  |

## II. 予防と健康管理・増進の項

- |              |                       |
|--------------|-----------------------|
| 3. 疫学とその応用   | C 統計解析                |
|              | ※準備教育モデル・コア・カリキュラムにあり |
| 9. 国民栄養と食品保健 | A 国民栄養の現状と対策          |
|              | B 食品の安全性と機能性          |

## V. 病因・病態生理の項

- |              |            |
|--------------|------------|
| 1. 疾病と影響因子   | A 疾病の自然経過  |
| 3. 損傷、炎症     | D 外傷の病態    |
| 7. 循環障害、臓器不全 | F 臓器不全     |
| 10. 医原病      | A 診断に伴う医原病 |
|              | B 治療に伴う医原病 |

## VI. 症候 の項

- 1 全身症候 J 顔貌の異常

## VII. 診察 の項

- 4 胎児・新生児の診察と評価 B 胎児付属物の診察

## VIII. 検査 の項

- 2 生体機能検査 C 消化管機能検査  
3 皮膚・感覚器・発声機能検査 F 発声・発語検査  
6 画像検査 F 画像検査における医療情報

## IX. 治療 の項

- 5 臓器・組織移植、人工臓器、再生医療  
B 提供者<ドナー>と被移植者<レシピエント>
- 10 2次・3次救急患者の治療 H 環境異常の治療  
I 異物・溺水・刺咬症の治療・処置  
J 産科的救急治療・処置  
K 新生児の救急治療・処置  
L 乳児の救急治療・処置
- 12 その他の治療法 C 人工換気  
D 呼吸理学療法  
E 物理療法  
G レーザー療法  
H 体外衝撃波結石破碎術<ESWL>  
I 電気けいれん療法  
J 免疫療法  
K 生殖補助技術<ART>  
L 精神療法

## 【医学各論】

注：各章は【必修の基本的事項】の大項目 12「主要疾患・症候群」に該当する。

医師国家試験出題基準(平成25年版)  
【必修の基本的事項】

大項目	中項目
1 医師のプロフェッショナリズム	A 医の倫理
	B 患者の権利と義務
	C 患者医師関係
2 社会と医療	A 医療制度、医療経済
	B 患者・障害者のもつ心理・社会的問題
	C 保健・医療・福祉・介護・教育の制度と連携
	D 医学研究と倫理
	E 臨床試験・治験と倫理性
3 診療情報と諸証明書	A 診療録、医療記録
	B 診療に関する諸記録
	C 診断書、検案書、証明書
4 医療の質と安全の確保	A 医療の質の確保
	B 医療事故の防止
	C 院内感染対策
	D 医療裁判
	E 医薬品・医療機器の副作用・不具合
	F 血液・血液製剤の安全性
5 人体の構造と機能	A 周産期
	B 胎児・新生児期
	C 小児期
	D 思春期、青年期
	E 壮年期
	F 更年期
	G 老年期
6 医療面接	A 医療面接の意義
	B マナー、オープニング
	C 良好なコミュニケーション
	D 病歴情報
	E 心理・社会的情報
	F 話の伝え方
	G 治療への動機付け
7 主要症候	A 全身症候
	B 皮膚、粘膜
	C 頭頸部、感覚器

医学教育モデル・コア・カリキュラム  
(平成22年度改訂版)

第2階層	
A-1	医の原則
A-1	医の原則
A-3	コミュニケーションとチーム医療
A-1	医の原則
A-3	コミュニケーションとチーム医療
B-5	保健、医療、福祉と介護の制度
B-1	社会・環境と健康
E-2	腫瘍
F-2	基本的診療知識
A-3	コミュニケーションとチーム医療
A-3	コミュニケーションとチーム医療
A-1	医の原則
A-1	医の原則
B-8	臨床研究と医療
B-7	診療情報
F-3	基本的診療技能
F-2	基本的診療知識
B-7	診療情報
B-5	保健、医療、福祉と介護の制度
B-6	死と法
B-5	保健、医療、福祉と介護の制度
A-1	医の原則
A-2	医療における安全性確保
A-2	医療における安全性確保
E-1	感染症
A-2	医療における安全性確保
A-2	医療における安全性確保
A-2	医療における安全性確保
C-1	生命現象の科学
D-10	妊娠と分娩
E-5	成長と発達
E-5	成長と発達
E-5	成長と発達
B-4	生活習慣と疾病
D-12	内分泌・栄養・代謝系
E-6	加齢と老化
F-3	基本的診療技能
F-3	基本的診療技能
F-3	基本的診療技能
A-3	コミュニケーションとチーム医療
F-3	基本的診療技能
F-3	基本的診療技能
A-1	医の原則
F-3	基本的診療技能
A-3	コミュニケーションとチーム医療
F-1	症候・病態からのアプローチ
D-3	皮膚系
D-13	眼・視覚系
D-14	耳鼻・咽喉・口腔系



医師国家試験出題基準(平成25年版)  
【必修の基本的事項】

大項目	中項目
	N 生体機能検査
	O 画像・内視鏡検査
10 臨床判断の基本	A 根拠に基づいた医療<EBM>
	B 臨床疫学的指標
	C 誤差と精度
	D 基準値
	E 有効性と効率性
	F 医療情報
11 初期救急	A 救急患者の診察
	B 基本的な救急処置
	C 症状・傷病別の初期対応
	D 災害医療
12 主要疾患・症候群	A 妊娠、周産期の異常
	B 精神・心身医学的疾患
	C 皮膚・頭頸部疾患
	D 呼吸器・胸壁・縦隔疾患
	E 心臓・脈管疾患
	F 消化器・腹壁・腹膜疾患
	G 血液・造血器疾患
	H 腎・泌尿器・生殖器疾患
	I 神経・運動器疾患
	J 内分泌・代謝・栄養・乳腺疾患
	K アレルギー性疾患、膠原病、免疫病
	L 感染性疾患
	M 生活環境因子・職業性因子による疾患
13 治療の基本	A リハビリテーション
	B 在宅医療と介護
	C 医用機器と人工臓器
	D 輸血
	E 移植
	F 放射線治療
	G 輸液療法
	H 栄養療法
	I 薬物療法
	J 褥瘡の処置・治療

医学教育モデル・コア・カリキュラム  
(平成22年度改訂版)

第2階層	
F-2	基本的診療知識
D-12	内分泌・栄養・代謝系
D-2	神経系
F-2	基本的診療知識
A-4	課題探究・解決と学習の在り方
B-8	臨床研究と医療
A-4	課題探究・解決と学習の在り方
B-3	疫学と予防医学
F-2	基本的診療知識
A-4	課題探究・解決と学習の在り方
F-3	基本的診療技能
F-3	基本的診療技能
F-3	基本的診療技能
B-2	地域医療
D-10	妊娠と分娩
D-15	精神系
D-3	皮膚系
D-13	眼・視覚系
D-14	耳鼻・咽喉・口腔系
D-6	呼吸器系
D-5	循環器系
D-7	消化器系
E-1	感染症
D-1	血液・造血器・リンパ系
D-8	腎・尿路系(体液・電解質バランスを含む)
D-9	生殖機能
D-2	神経系
D-4	運動器(筋骨格)系
D-12	内分泌・栄養・代謝系
D-4	運動器(筋骨格)系
D-11	乳房
E-3	免疫・アレルギー疾患
E-1	感染症
D-15	精神系
E-4	物理・化学的因子による疾患
F-2	基本的診療知識
A-1	医の原則
F-2	基本的診療知識
E-6	加齢と老化

医師国家試験出題基準(平成25年版)  
【必修の基本的事項】

大項目	中項目
14 基本的手技	A 一般的手技
	B 注射
	C 外科手技
15 死と終末期ケア	A 死の判定と診断
	B 緩和ケア
	C 終末期ケア
16 チーム医療	A 医療機関でのチームワーク
	B 地域医療でのチームワーク
	C コンサルテーション
	D 社会生活
17 生活習慣とリスク	A 基本概念
	B 栄養、食生活
	C 身体活動、運動
	D 休養・心の健康
	E 喫煙
	F 飲酒
	G 生涯設計
18 一般教養的事項	A 医学史
	B 医学・医療に関する人文・社会科学・自然科学・芸術などに関連する一般教養的知識や考え方
	C 診療に必要な一般的な医学英語

医学教育モデル・コア・カリキュラム  
(平成22年度改訂版)

第2階層	
F-3	基本的診療技能
F-3	基本的診療技能
F-3	基本的診療技能
E-7	人の死
B-6	死と法
F-2	基本的診療知識
E-2	腫瘍
E-7	人の死
A-3	コミュニケーションとチーム医療
B-1	社会・環境と健康
B-2	地域医療
A-3	コミュニケーションとチーム医療
A-3	コミュニケーションとチーム医療
B-1	社会・環境と健康
B-4	生活習慣と疾病
A-1	医の原則

医師国家試験出題基準(平成25年版)  
【医学総論】

医学教育モデル・コア・カリキュラム  
(平成22年度改訂版)

章	大項目	中項目
I	1 健康・疾病・障害の概念と社会環境	A 健康の概念
		B 環境と健康
		C 社会環境の変動と国民の健康
		D 疾病・障害の概念と社会
	2 社会保障制度と医療経済	A 社会保障の概念と制度
		B 医療保険、介護保険、公費医療
		C 医療経済
	3 保健・医療・福祉・介護の仕組み	A 保健・医療・福祉・介護の組織と連携
		B 少子化社会・障害児<者>への対応
		C 在宅ケア
	4 保健・医療・福祉・介護の資源	A 保健・医療・福祉・介護の施設と機能
		B 保健・医療・福祉・介護従事者
	5 保健・医療・福祉・介護関係法規	A 医事
		B 薬事
		C 地域保健
		D 母子保健
		E 成人・高齢者保健
		F 精神保健
		G 感染症対策
		H がん対策
		I 食品保健
		J 学校保健
		K 産業保健
		L 環境保健
		M 医療保険
		N 社会福祉・介護
	6 地域保健、地域医療	A 地域保健・地域医療と医師の役割
		B 医療計画
		C プライマリヘルスケア
		D 健康増進とヘルスプロモーション
		E 救急医療
F 災害医療		
G 離島・へき地医療		
7 国際保健	A 世界の保健・医療問題	
	B 国際保健・医療協力	

第2階層	
B-1	社会・環境と健康
B-5	保健、医療、福祉と介護の制度
B-1	社会・環境と健康
F-2	基本的診療知識
B-5	保健、医療、福祉と介護の制度
B-5	保健、医療、福祉と介護の制度
B-5	保健、医療、福祉と介護の制度
B-6	死と法
B-5	保健、医療、福祉と介護の制度
B-2	地域医療
B-2	地域医療
B-2	地域医療
B-1	社会・環境と健康
B-2	地域医療
B-2	地域医療
B-2	地域医療

医師国家試験出題基準(平成25年版)  
【医学総論】

医学教育モデル・コア・カリキュラム  
(平成22年度改訂版)

章	大項目	中項目
Ⅱ	1 予防医学と健康保持増進	A 地域社会と公衆衛生
		B 予防医学
		C 健康保持・増進
		D 健康診断・診査と健康管理
	2 人口統計と保健統計	A 人口静態統計
		B 人口動態統計
		C 疾病・障害の分類・統計
	3 疫学とその応用	A 疫学の概念
		B 疫学指標
		C 統計解析
		D 観察研究
		E 介入研究
4 母子保健	A 現状と動向	
	B 母性保健、周産期の保護	
	C 小児の保健・福祉	
5 成人保健	A 現状と動向	
	B 生活習慣病と保健対策	
6 高齢者保健	A 現状と動向	
	B 高齢者の健康保持・増進	
7 精神保健福祉	A 現状と動向	
	B 精神的健康の保持・増進	
8 感染症対策	A 感染症の疫学	
	B 医師と自治体の対応	
	C 予防接種と検疫	
9 国民栄養と食品保健	A 国民栄養の現状と対策	
	B 食品の安全性と機能性	
10 学校保健	A 学校保健の現状と動向	
	B 学校医と保健管理	
11 産業保健	A 産業保健の仕組み	
	B 現状と動向	
	C 産業医と労働安全衛生管理	
12 環境保健	A 環境と適応	
	B 地球環境の変化と健康影響	
	C 環境汚染の発生要因と健康影響	
	D 上水道と下水道	
	E 公害の健康被害と対策	
	F 環境汚染の評価と対策	
	G 廃棄物処理	
	H 騒音・振動の健康影響と対策	
	I 放射線の健康影響と管理	
	J 居住・衣服環境と健康	

第2階層	
B-3	疫学と予防医学
準備教育モデル・コア・カリキュラムに記載	
B-8	臨床研究と医療
B-8	臨床研究と医療
B-2	地域医療
B-2	地域医療
B-2	地域医療
B-4	生活習慣と疾病
B-4	生活習慣と疾病
B-5	保健、医療、福祉と介護の制度
E-6	加齢と老化
B-2	地域医療
B-2	地域医療
E-1	感染症
E-1	感染症
E-1	感染症
B-2	地域医療
B-2	地域医療
B-5	保健、医療、福祉と介護の制度
B-5	保健、医療、福祉と介護の制度
B-5	保健、医療、福祉と介護の制度
B-1	社会・環境と健康

医師国家試験出題基準(平成25年版)  
【医学総論】

医学教育モデル・コア・カリキュラム  
(平成22年度改訂版)

章	大項目	中項目
Ⅲ	1 個体の構造	A 細胞、組織
		B 局所解剖
	2 皮膚、頭頸部、感覚器、発声器	A 皮膚の構造・機能
		B 頭蓋・頭蓋腔の構造
		C 顔面の構造
		D 頸部の構造
		E 頭頸部の生理的間隙
		F 視覚系の構造・機能
		G 聴覚系の構造・機能
		H 前庭平衡系の構造・機能
		I 嗅覚系・味覚系の構造・機能
		J 発声器の構造・機能
		K 体性感覚系の構造・機能
	3 呼吸器、胸郭、胸壁	A 胸郭の構造・機能
		B 上気道・下気道の構造・機能
		C 肺の構造・機能
		D 呼吸運動
	4 心臓、脈管	A 心臓・血管の構造・機能
		B リンパ管の構造と機能
	5 消化器、腹壁、腹膜	A 口腔・咽頭の構造・機能
		B 消化管の構造・機能
		C 肝・胆道・膵の構造・機能
		D 腹壁・腹膜の構造・機能
	6 血液、造血器	A 血液・造血器の構造・機能
	7 腎、泌尿器、生殖器	A 腎の構造・機能
		B 尿路の構造・機能
		C 男性生殖器の構造・機能
		D 女性生殖器の構造・機能
	8 心理、精神、神経、運動器	A 心理・精神機能
		B 精神機能と身体
		C 中枢神経・末梢神経の構造・機能
		D 脳・脊髄血管系とその支配領域
		E 運動器の構造・機能
	9 内分泌、代謝、栄養	A 内分泌器官の構造・機能
		B 代謝と栄養
	10 免疫	A 免疫系臓器
		B 自然免疫
		C 獲得免疫
		D 免疫系の調節

第2階層	
C-1	生命現象の科学
C-2	個体の構成と機能
D-3	皮膚系
C-2	個体の構成と機能
D-13	眼・視覚系
C-2	個体の構成と機能
C-2	個体の構成と機能
D-13	眼・視覚系
D-14	耳鼻・咽喉・口腔系
D-2	神経系
D-6	呼吸器系
D-5	循環器系
C-2	個体の構成と機能
D-14	耳鼻・咽喉・口腔系
D-7	消化器系
D-7	消化器系
D-7	消化器系
D-1	血液・造血器・リンパ系
D-8	腎・尿路系(体液・電解質バランスを含む)
D-8	腎・尿路系(体液・電解質バランスを含む)
D-9	生殖機能
D-9	生殖機能
D-15	精神系
D-2	神経系
D-2	神経系
D-2	神経系
D-4	運動器(筋骨格)系
D-12	内分泌・栄養・代謝系
D-12	内分泌・栄養・代謝系
C-3	個体の反応

医師国家試験出題基準(平成25年版)  
【医学総論】

医学教育モデル・コア・カリキュラム  
(平成22年度改訂版)

章	大項目	中項目
IV	1 妊娠	A 妊娠の成立・維持
		B 胎児付属物
		C 胎児・胎盤系
		D 妊娠による母体変化
		E 妊婦の栄養
	2 分娩	A 分娩の3要素
		B 分娩の経過
	3 産褥	A 産褥の経過
		B 乳汁分泌
	4 胎児	A 胎児の発育
		B 器官形成と臓器の成熟
	5 新生児	A 成熟徴候
		B 新生児の生理
	6 小児期	A 小児の成長
		B 小児の発達
		C 小児栄養
	7 思春期、青年期	A 身体の成長・発達
		B 精神発達
	8 加齢、老化	A 細胞・組織の加齢現象
		B 加齢による臓器・機能の変化、疾患の特徴
		C 高齢者の生理的特徴
		D 高齢者の心理的特徴
		E 高齢者の疾患の特徴と頻度の変化
		F 寿命
V	1 疾病と影響因子	A 疾病の自然経過
		B 内因と外因
		C 生活・職業・社会環境と疾病
		D ストレス
	2 先天異常	A 原因と分類
		B 遺伝形式
		C 染色体異常の種類
		D 遺伝相談
	3 損傷、炎症	A 創傷の種類
		B 創傷の治癒過程
		C 創傷治癒に影響する因子
		D 外傷の病態
		E 化学的損傷
		F 物理的損傷
		G 炎症の局所的变化
		H 炎症の全身的变化
	4 感染	A 概念
B 病態		

第2階層	
D-10	妊娠と分娩
E-5	成長と発達
C-2	個体の構成と機能
E-5	成長と発達
C-1	生命現象の科学
E-6	加齢と老化
C-4	病因と病態
B-4	生活習慣と疾病
B-1	社会・環境と健康
C-4	病因と病態
C-4	病因と病態
C-4	病因と病態
E-2	腫瘍
C-4	病因と病態
C-4	病因と病態
C-4	病因と病態
D-13	眼・視覚系
E-4	物理・化学的因子による疾患
E-6	加齢と老化
C-4	病因と病態
C-4	病因と病態
C-3	個体の反応
E-1	感染症

医師国家試験出題基準(平成25年版)  
【医学総論】

医学教育モデル・コア・カリキュラム  
(平成22年度改訂版)

章	大項目	中項目
	5 アレルギー、免疫異常	A 免疫異常疾患
		B アレルギー
	6 腫瘍	A 腫瘍の疫学
		B 腫瘍の病因
		C 悪性腫瘍と免疫
		D 腫瘍の病理・病態
	7 循環障害、臓器不全	A 血行障害
		B 梗塞
		C リンパ流障害
		D ショック
		E 血圧異常
		F 臓器不全
	8 内分泌・代謝・栄養の異常	A ホルモンの合成・分泌の異常
		B エネルギー及び栄養素の欠乏と過剰
	9 中毒、放射線障害	A 中毒の発生要因
		B 中毒の病態生理
		C 放射線の身体的影響
		D 放射線の確率的影響・確定的影響
	10 医原病	A 診断に伴う医原病
		B 治療に伴う医原病
11 死	A 死因の究明	
	B 死後変化	
VI	1 全身症候	A 発熱
		B 全身・怠感
		C 体重減少・増加
		D ショック
		E 意識障害
		F けいれん
		G めまい
		H 脱水
		I 浮腫
		J 顔貌の異常
	2 皮膚、外表	A 皮疹
		B 粘膜疹
		C 爪・毛髪異常
		D 癢痒
		E 皮膚分泌異常
		F デルマドローム
		G 黄疸
		H 手掌紅斑
		I 脈管異常
		J 母斑
K 小奇形		

第2階層	
E-3	免疫・アレルギー疾患
E-3	免疫・アレルギー疾患
E-2	腫瘍
E-2	腫瘍
C-3	個体の反応
E-2	腫瘍
C-4	病因と病態
C-4	病因と病態
D-5	循環器系
F-1	症候・病態からのアプローチ
D-5	循環器系
D-12	内分泌・栄養・代謝系
D-12	内分泌・栄養・代謝系
E-4	物理・化学的因子による疾患
E-4	物理・化学的因子による疾患
C-3	個体の反応
C-3	個体の反応
E-7	人の死
E-7	人の死
F-1	症候・病態からのアプローチ
D-3	皮膚系
F-1	症候・病態からのアプローチ
D-3	皮膚系

医師国家試験出題基準(平成25年版)  
【医学総論】

医学教育モデル・コア・カリキュラム  
(平成22年度改訂版)

章	大項目	中項目
		L リンパ節腫脹
		M 褥瘡
		N 角化異常
		O 光線過敏
		P 痛み
	3 頭頸部、感覚器	A 頸部の異常
		B 視機能障害
		C 眼症状
		D 眼組織の異常
		E 外眼部の異常
		F 眼球の異常
		G 耳の異常
		H 鼻の異常
		I 味覚障害
	4 呼吸器、心臓、血管	A 咽頭・喉頭の異常
		B 気管・気管支の異常
		C 呼吸の異常
		D 呼吸リズムの異常
		E 呼吸音の変化
		F 副雑音
		G 胸痛
		H 失神
		I 胸水
		J 異常心音
		K 心雑音
		L 不整脈
		M 脈拍異常
		N 血管雑音
		O 血圧異常
		P 間欠性跛行
	5 消化器	A 食欲異常
		B 口および口腔内の異常
		C 嚥下障害
		D 上部消化管逆流症状
		E 腹痛
		F 腹膜刺激症状
		G 消化管出血
		H 便通異常
		I 皮膚の異常

第2階層	
F-1	症候・病態からのアプローチ
E-6	加齢と老化
D-3	皮膚系
D-3	皮膚系
D-3	皮膚系
D-12	内分泌・栄養・代謝系
D-13	眼・視覚系
D-14	耳鼻・咽喉・口腔系
D-14	耳鼻・咽喉・口腔系
D-2	神経系
D-14	耳鼻・咽喉・口腔系
F-1	症候・病態からのアプローチ
D-6	呼吸器系
F-1	症候・病態からのアプローチ
D-6	呼吸器系
F-1	症候・病態からのアプローチ
F-1	症候・病態からのアプローチ
F-1	症候・病態からのアプローチ
F-3	基本的診療技能
F-3	基本的診療技能
D-5	循環器系
F-3	基本的診療技能
D-5	循環器系
D-5	循環器系
D-5	循環器系
F-1	症候・病態からのアプローチ
D-15	精神系
D-14	耳鼻・咽喉・口腔系
F-1	症候・病態からのアプローチ
F-1	症候・病態からのアプローチ
F-1	症候・病態からのアプローチ
D-7	消化器系
F-1	症候・病態からのアプローチ
F-1	症候・病態からのアプローチ
F-1	症候・病態からのアプローチ
D-7	消化器系



医師国家試験出題基準(平成25年版)  
【医学総論】

医学教育モデル・コア・カリキュラム  
(平成22年度改訂版)

章	大項目	中項目	
		J 平衡・感覚・自律神経系の障害	
		K 頭蓋内圧亢進	
		L 脊髄・神経根障害	
		M 脊柱の異常	
		N 関節の障害	
		O その他	
	10 内分泌、代謝、栄養	A 肥満、やせ	
		B 身長異常	
		C 体毛異常	
		D 乳腺異常	
		E 糖尿	
VII	1 2次・3次救急患者の診察	A 初診時の評価	
		B 病態に応じた診察	
	2 高齢者の診察と評価	A 高齢者の診察	
		B 高齢者総合機能評価<CGA>	
	3 小児の診察	A 乳幼児の診察	
		B 学童期の児の診察	
		C 思春期の児の診察	
	4 胎児・新生児の診察と評価	A 胎児の診察	
		B 胎児付属物の診察	
		C 新生児の診察	
	5 妊・産・褥婦と胎児の診察	A 妊婦の診察	
		B 産婦の診察	
		C 褥婦の診察	
	VIII	1 検体検査	A 検体の採取と保存
			B 一般臨床検査
C 血液学検査			
D 生化学検査			
E 免疫血清学検査			
F 微生物学検査			
G 病理組織学検査、細胞診			
H 染色体検査・体細胞遺伝子検査			
2 生体機能検査			A 呼吸機能検査
		B 心機能検査	
		C 消化管機能検査	
		D 肝・胆道機能検査	
		E 膵機能検査	
		F 内分泌・代謝機能検査	
		G 腎機能検査	

第2階層	
D-2	神経系
D-2	神経系
D-2	神経系
D-4	運動器(筋骨格)系
F-1	症候・病態からのアプローチ
F-1	症候・病態からのアプローチ
F-1	症候・病態からのアプローチ
D-12	内分泌・栄養・代謝系
D-12	内分泌・栄養・代謝系
D-11	乳房
D-8	腎・尿路系(体液・電解質バランスを含む)
F-3	基本的診療技能
E-5	成長と発達
D-10	妊娠と分娩
D-10	妊娠と分娩
D-10	妊娠と分娩
F-2	基本的診療知識
G-3	基本的臨床手技
F-2	基本的診療知識
C-1	生命現象の科学
C-4	病因と病態
F-2	基本的診療知識
F-2	基本的診療知識
D-5	循環器系
F-2	基本的診療知識
F-2	基本的診療知識
D-12	内分泌・栄養・代謝系
F-2	基本的診療知識





医師国家試験出題基準(平成25年版)  
【医学総論】

医学教育モデル・コア・カリキュラム  
(平成22年度改訂版)

章	大項目	中項目	
	9 リハビリテーション	A リハビリテーションの概念	
		B リハビリテーションの技術	
		C 身体障害のリハビリテーション	
		D 精神・知的・発達障害のリハビリテーション	
	10 2次・3次救急患者の治療	A 心肺蘇生	
		B 2次・3次救急に必要な処置	
		C ショックの治療	
		D 重症救急病態	
		E 外傷の治療・処置	
		F 急性中毒の治療・処置	
		G 熱傷の治療・処置	
		H 環境異常の治療	
		I 異物・溺水・刺咬症の治療・処置	
		J 産科的救急治療・処置	
		K 新生児の救急治療・処置	
		L 乳児の救急治療・処置	
		11 緩和医療	A 全人的苦痛の緩和
			B 身体的苦痛の緩和
	C オピオイド〈医療用麻薬〉		
	D ホスピス・緩和ケア		
	12 その他の治療法	A 酸素療法(急性期、慢性期)	
		B 高圧酸素療法	
		C 人工換気	
		D 呼吸理学療法	
		E 物理療法	
		F 光線療法	
		G レーザー療法	
		H 体外衝撃波結石破碎術〈ESWL〉	
		I 電気けいれん療法	
		J 免疫療法	
		K 生殖補助技術〈ART〉	
		L 精神療法	
		M リエゾン精神医学〈精神科コンサルテーション〉	

第2階層	
F-2	基本的診療知識
G-4	診療科臨床実習
G-4	診療科臨床実習
F-1	症候・病態からのアプローチ
D-6	呼吸器系
D-5	循環器系
D-8	腎・尿路系(体液・電解質バランスを含む)
D-7	消化器系
D-1	血液・造血器・リンパ系
D-4	運動器(筋骨格)系
D-2	神経系
D-14	耳鼻・咽喉・口腔系
E-4	物理・化学的因子による疾患
E-4	物理・化学的因子による疾患
F-2	基本的診療知識
F-2	基本的診療知識
F-2	基本的診療知識
E-2	腫瘍
F-2	基本的診療知識
E-4	物理・化学的因子による疾患
E-5	成長と発達
D-15	精神系